

# 活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	[緑を楽しむ講座 習志野] [お茶の話] ~お茶が世界を動かした...~		
開催日時	2024年 1月 27日(土) 10時 ~ 12時		
開催場所	習志野市民プラザ大久保 (習志野市)	一般参加者	11名

## 活動概要

生活の身近にある飲み物—お茶—についてのお話です。  
 英国ではティー、フランスではテ、インドではチャイ、日本は[チャ]と[テ]の2つの発音があります。似てはいませんか？  
 それはチャノキのある中国からの伝播が陸路と海路にわかれて世界に広がっていったことによります。それほどこの植物が世界で好まれたには理由がありました。  
 緑茶、ウーロン茶、紅茶は別々の種類の木から作られているものではありません。  
 同じ茶葉が発酵の度合いによって違った味の飲み物になりました。世界の銘茶の生産地、中国、インド、スリランカがあります。それらの発展の背景も学びました。  
 茶が原因の一つでアヘン戦争がおき、ボストン茶会事件やがてはアメリカ独立戦争にまで発展しました。紅茶がどのようにヨーロッパにひろまり、アフタヌーンティがどのような背景で生まれたかも学びました。お茶を知ることは世界を知ることにもなります。

[お茶の話 世界編]

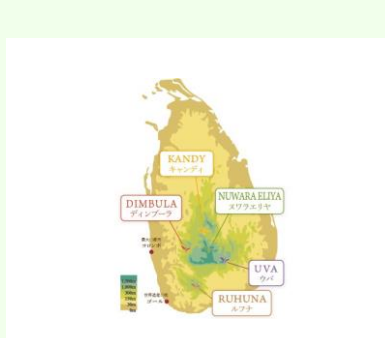
~お茶が世界を動かし、世界史に大きな足跡を残した!~



緑を楽しむ講座 習志野

2024年1月27日  
市民プラザ大久保

NPO法人千葉県森林インストラクター会  
森池 正典



- 1657 コーヒーハウス[ギヤラウェイ]で茶の販売開始(緑茶1グラム=銀2グラム)
- 1662 ポルトガルの王女、キャサリンが英国チャールズ2世に嫁ぐ **茶産として東洋の飲茶の風習を持ち込む** 砂糖も持参  
以降普通の人々の間にお茶が普及
- 1665 イギリスはオランダとの戦争後アメリカ北東部を獲得、ニューアムステルダムをニューヨークと改名
- 1689 イギリス、広東から **発酵茶** を輸入



FIC 講師： 森池正典